

<過去のお知らせ>

報道資料

平成 15 年 6 月 5 日
社団法人 電波産業会

デジタル放送に関する標準規格体系の整備完了等について

本日、社団法人電波産業会（略称：ARIB、会長：那須翔）の第49回規格会議（委員長：桑原守二）は、デジタル放送に関する標準規格の追加（策定）及び改定を行い、すべてのデジタル放送に関する標準規格体系を整えました。

地上デジタルテレビジョン放送及び地上デジタル音声放送については、すでに平成13年（2001年）5月に標準規格が策定され、受信機の具体的な製品開発が行われておりますが、今回デジタル放送全体の標準規格体系が整ったことに伴い、デジタル放送の普及に一層のはずみがつくものと期待されます。

また、地上デジタルテレビジョン放送及びBS／広帯域CSデジタル放送の運用規定について、リモコン設計や番組制作において色覚障害者に配慮した対応がなされるよう改定を行いました。今後の受信機製造や番組制作に順次適用されていくことが期待されます。

なお、今回策定及び改定を行った主なものは、別紙1のとおりです。

[別紙1：策定及び改定の概要](#)

[別紙2：デジタル放送に関するARIB標準規格体系](#)

[別紙3：2.6GHz帯衛星デジタル音声放送の受信イメージ](#)

連絡先： 社団法人電波産業会 研究開発本部
担当：放送グループ担当部長
電話：03-5510-8597